

主な議案

《9月定例会》

一般会計補正予算

住み続けたいくなる「まち美化」プログラム特別枠 《計7千350万円》

・ 図画・標語の募集や啓発看板・監視カメラ設置などの環境教育啓発事業等 (340万円)

・ 庁舎のデザインチェアなどの整備床クリーニング、カーペット改修 (1千500万円)

・ 神明苑のカーペット・カーテン、照明などの改修 (350万円)

・ 市内道路のガードレール改修 (1千万円)

・ 市内公園のトイレ内のおむつ替えシートやフィッティングボードの設置等 (250万円)

・ 西山動物園のトイレ、リスサル舎などの改修 (1千500万円)

・ スポーツ交流館の床張替え (700万円) など

成長分野チャレンジ支援事業補助金 《1千500万円》

これまで以上に培われた高度な産業技術を活かし、次世代産業として成長が期待される医療、ウェアラブル端末関連の分野において、今後、地域をリードする企業による新製品・新技術開発を支援・育成することで、本市のものづくり産業の裾野を広げ

るとともに、既存産業の継続的発展と雇用の拡充を図るために創設

原子力防災避難対策費

《1千200万円》

県の補助を活用し、折り畳みサポートベッドなど消耗品や備品の購入

私立保育所施設整備費補助金

《1億1千120万円余》

みずほ保育園の建替えに対する補助金

予防接種費 《970万円》

10月から実施する高齢者肺炎球菌ワクチン・水痘ワクチンの費用

地域再生道路整備事業費

《7千600万円》

西縦貫線など7路線の整備

総合体育館の耐震補強および改修工事の実施設計業務委託 《1千万円》

鯖江市保育の必要性の認定に関する条例など4件の条例制定について

平成27年4月から子ども・子育て新制度がスタートすることに伴い、新制度において施設型給付の確認や地域型保育事業の認可などを市町村の事務として行うことになるため、必要となる条例を整備するもの

総務委員会

委員会議

一般会計補正予算

● 住み続けたいくなるまち美化プログラム特別枠

問 公共施設の美化を中心に、ゴミ拾いや草刈りなど、市内をきれいにする施策として、プロジェクトチームも設置し、活動するとの説明であるが、チームは設置されたのか。また、事業に対する財源関係は。さらに、施設の統廃合やファシリテイマネジメントとの整合性は。

答 プロジェクトチームの設置は未設置。事業に対する国や県の補助金はないが、活用できそうな財源があれば、活用を考えたい。また、事業費は、市全体の予算枠の中で考慮したい。

施設は、整理・統廃合できるものは整理していきたいが、ほとんどの施設は継続する必要があるため、施設が持つ機能を十分に発揮できるように修繕・美化するなど、施設の長寿命化を図っていく。

● 防犯事務諸経費

問 女性防犯隊員15人の制服購入を見込んでいるが、女性防犯隊員の役割は。また、現在の防犯隊員の状況は。

答 条例定数では防犯隊員数は、150人となっているが、現在の隊員数は135人であり、条例定数に近づけるためにも女性の参画を促進するもので、男性が立ち入りできない場所に入り、女性ならではのきめ細やかな対応ができる

と考えている。

● 賦課徴収費

問 市税過誤納還付金について、全国で、税の還付加算金が計算方法の過ちによって、過小に計算されているという例が見られるが、本市の状況は。

答 還付加算金は、納付された日の翌日から計算すべきところを、修正申告日の1ヶ月を経過する日の翌日から計算していたため、還付加算金が正しく算定されなかった事例が全国の自治体で多数発生。本市でも8月に県から通知を受けて、調査したところ、同様の過少還付事例が市県民税で約300件あり、速やかに還付手続きを進めていきたい。